



出演者 プロフィール



指揮 山本 健太

三重県立上野高校普通科を経て、三重大学教育学部音楽教育コースを卒業。2010年第23回管楽器個人コンテスト本大会において、最優秀伴奏者賞受賞。2016年三重大学教育学部音楽教育コースファイナルコンサートに出演。大学在学中、本格的に指揮の活動を始め、吹奏楽の指揮を中心に活動を行う。2015年12月「ふるさと会館いが」で開催した、(公財)伊賀市文化都市協会主催の「子どもから楽しめるコンサート三重大学吹奏楽団クリスマスファンタジー」に、指揮者として出演し、大盛況となる。2017年ブルガリア国立ソフィア・フィルハーモニー管弦楽団と共演。ベートーヴェン交響曲第1番の指揮を行い、「才能ある指揮者」と評価を得た。2019年3月ザ・シンフォニーホールにて、熊本城再建復興プロジェクトに加わる。同年5月準メルクル氏のマスタークラスを受講。関西・東海地方を中心に、吹奏楽・オーケストラなど様々な団体の客演指揮を務める。指揮を福岡友也、栢森和重、守山俊吾の各氏に師事。現在、鈴鹿市立白子中学校音楽科教諭。白子中学校吹奏楽部音楽監督。音楽学習学会会員。IGAオーケストラアンサンブルBUNTO音楽監督兼、指揮者を務める。

演奏 IGA オーケストラアンサンブル BUNTO



(公財)伊賀市文化都市協会(愛称:ぶんと)では2015年から「10年後に地域のクラシック人口1%」を目指すプロジェクト「クラシックのいろは」を立ち上げ、来場者だけではなく、地域の演奏家達の貴重な経験の場を提供し、長期的なクラシック人口の拡充に取り組んでいる。(公財)伊賀市文化都市協会が主催・企画する文化まちづくり事業として、音楽の好きな市民の楽しみの場、交流の場、活躍の場を創出し、クラシック音楽等への普及活動を行うことを目的に、指揮者の山本健太氏とコンサートマスターの村瀬響氏がタッグを組み、プロ演奏家や様々な地域で活動する音楽家、積極的に音楽活動を続けている演奏家など厳選されたメンバーにより創立。様々な音楽ジャンルの曲目構成をもつファミリークラシックコンサートや音楽作品を広く市民等に紹介する演奏会など積極的に企画し、今後さらなる楽団の飛躍が期待される。



ぶんとチャイルドクラシックプログラムは、感性豊かな子どものうちから、それぞれの発育状態に合わせた育成プログラムを設けクラシック音楽を継続的に提供することによって、音楽を身近に感じ、感性を養いながら、大人になっても地域のホールにコンサートを聴きに來てもらえるよう「10年後に地域のクラシック人口1%」を目指して取り組むプログラムです。

ぶんと
チャイルド
クラシック
プログラム

